



Hitekun

Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《平成30年7月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	2,449	18	3,122
前年	2,824	23	3,547
増減	-375	-5	-425

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう

	件数	死者	傷者
本年	683	10	390
前年	794	12	472
増減	-111	-2	-82



車両運転中にもし災害が発生したら…どうしますか？

この夏、日本各地では、大雨による甚大な被害を受けました。今後も台風や大雨など災害の発生が予想されることから、車両運転中等の避難行動について再確認して非常時に備えましょう。

1 テレビ、ラジオ、インターネット等での最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。

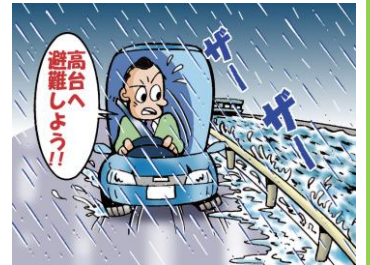


予測を上回る雨や風、竜巻の発生など危険を感じたら早めに避難しましょう。
早め早めの判断が大切です。

2 河川の周囲を走行しているときは、川の水位や流れに注意しましょう。

河川の急な増水や、濁ったり枝が流れてきたりするときは危険です。

早めの避難！



ハザードマップにより危険箇所をあらかじめ把握し、安全な場所へ避難する必要があります。

3 周辺より低い位置にある道路は避けましょう。

地下道やアンダーパスは低い位置にあり、水がたまりやすいため、短時間でも水位が上昇する恐れがあります。

早めの避難！



4 冠水している道路は避けましょう。

比較的水位が低く（5～10 cm）ても、路面状況がわかりにくいので、絶対に進入せずに、迂回しましょう。排水溝への脱輪や段差へ乗り上げる危険があります。

5 万が一、車が水に浸ってしまったときには…！？

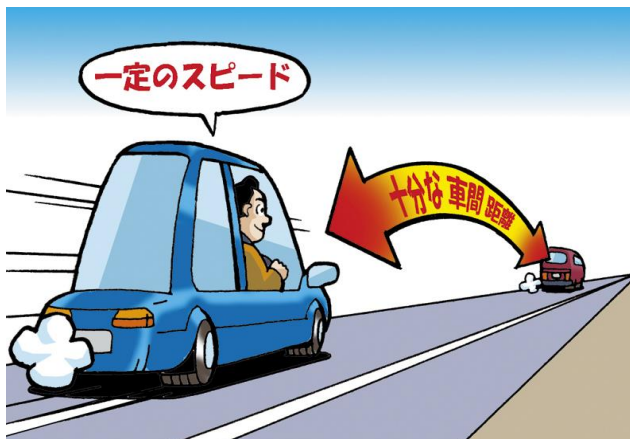
すぐに車を止め、慌てずにエンジンを停止させ、避難経路を考えましょう。その際は道路の状況がわからないので一歩一歩確かめながら、進行方向と逆に避難しましょう。

万が一水没した場合には、まずシートベルトを外し、窓が水面より高ければ開けてルーフに上るようにして脱出します。開かないときは、緊急脱出用ハンマーを利用することにより脱出の可能性が高まりますので常備しておきましょう。

高速道路等での渋滞中の事故に注意!

今年7月、名神高速道路下り線で渋滞中に車両9台が関係する多重事故が発生し、1名が亡くなりました。

① 車間距離を十分にとりましょう。



特に高速道路では、スピードが速くなるため停止距離も長くなります。

渋滞で追突事故を起こさないために前方車両と十分な車間距離をとりましょう。

車は急には止まれません。

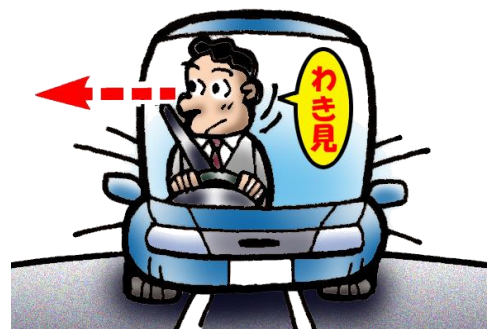
交通情報にも
注意!



② 脇見をしないで運転に集中!

時速40kmの車は1秒間に約11m、時速60kmの車は1秒間に約17m、時速100kmの車は1秒間に約28mも進むと言われています。

景色に気をとられたり、車内の物をとるためなどに視線を前方から反らして脇見をしてしまうと車は思った以上に進んでいます。脇見をしないで運転に集中しましょう。



渋滞をハザードランプで後続車に知らせましょう!

渋滞を発見して低速走行や停止する場合は、ハザードランプを点灯し後続車に合図しましょう。事前に情報板などで渋滞の情報を収集することも大切です。



ドライバーのみなさん!

横断歩道は歩行者優先です!



ストップ!

横断歩道



道ゆずり

横断歩道に

笑顔咲く

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表)

Eメール x0022@police.pref.shiga.jp